

平成29年度決算の概要

1. 教育・研究及び医療環境の整備

(1) [教育関係]

- ①御井キャンパスでは、総合整備工事が平成29年8月に完了しました。また、学務システム更新に伴い、更なる学生支援のため学生カルテの導入を行いました。
- ②医学部教育1号館教室でマルチメディア設備整備を行うと共にデジタルサイネージ等の配備により、学生への瞬時的な情報伝達が可能となりました。
- ③附設高中校では、グラウンドや高校寮の環境整備を行いました。

(2) [研究関係]

- ①平成30年2月に「基礎3号館」が竣工しました。学生、企業、教職員のミックス・ゾーンとしてイノベーション創出が期待されます。
- ②文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業」に選定されました。

(3) [医療関係]

- ①平成30年2月に「病院北館（総合複合棟・放射線腫瘍センター）」が竣工しました。放射線腫瘍センターには、最新の放射線治療機器2台（1台は九州初）と温熱療法機器1台を新たに導入し、平成30年10月に稼動開始予定です。
- ②新専門医制度における基幹施設としての環境整備を行い、臨床研修医及び専攻医の施設環境を整備しました。

2. 財務状況

【事業活動収支の状況】

事業活動収入計の567億9百万円から、事業活動支出計の561億6千6百万円を差引いた基本金組入前当年度収支差額は、5億4千3百万円（事業活動収入に占める比率は1・0%）となり、予算比で5億7百万円の増となりました。

内訳として、経常的な収支を示す経常収支差額は、△12億6千9百万円となり、予算比では教育活動収支における医療収入、付随事業収入で収入増、人件費、管理経費で支出減となったものの、経常費補助金等で収入減、医療経費で支出増となりました。

臨時的な収支を示す特別収支差額は18億1千2百万円となり、予算比で資産売却差額等により増となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計23億8千9百万円を差引いた当年度収支差額は、18億4千7百万円の支出超過となりました。

以上のことから、基本金組入前当年度収支差額は予算比で改善してい

ますが、今後、さらなる収支構造の改善を図り、基本理念、将来構想の実現に向けて取り組んでまいります。

【資金収支の状況】

収入の部小計の1052億7千6百万円から、支出の部小計の1055億1千6百万円を差引いた当年度収支差は、△2億4千万円となり、予算比では2億6千万円の減となりました。

予算比の主な増減は、事業活動収支状況に加えまして、支出の部では設備関係支出で減となりましたが、施設関係支出、借入金等返済支出で増となりました。

また、2号基本金、3号基本金、及び施設拡充引当特定資産を組入れました。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は、47億7千7百万円となりました。

【貸借対照表の状況】

資産の部合計は1188億7千1百万円で、前年度比4億6千8百万円減少しています。一方、負債の部合計は349億1千3百万円となり前年度比10億1千1百万円減少しています。基本金と繰越収支差額を合計しました純資産は839億5千8百万円となり、前年度比で29年度の基本金組入前当年度収支差額分の5億4千3百万円が増加しています。

◎財務書類等（財産目録・貸借対照表・収支計算書・事業報告書・監査報告書）の閲覧の請求は、財務部経理課で承ります。